



町田南地域 九条の会

HP <http://home.a09.itscom.net/minami9>

ニュース発行

2017年12月 NO.150

町田南地域九条の会
(連絡先事務局)

東京都町田市小川4-7-23
TEL/FAX 042-796-6684

メール machimina9@a08.itscom.net

編集責任者 立石憲市郎

「3000万署名」で戦争につながる改憲阻止を

改憲問題対策法律家6団体連絡会は11月29日国会内で集会を開き、戦争に道を開く9条改憲の動きが強まっているも、これを阻止するための「9条改憲NO!憲法を生かす全国統一署名」(3000万人署名)の運動を全国に広めるため尽力するとのアピールを採択しました。

集会では、社会文化法律センター共同代表の宮里邦雄弁護士が「国民に安倍改憲の本質を分かりやすく説明し、改憲反対の立場にたつてもらうことが重要です」と主催者を代表して挨拶しました。続いて東京慈恵会医科大学の小沢隆一教授、東海大学の永山茂樹教授、自由法曹団の田中隆弁護士が安倍首相や自民党改憲案の問題点などについて講演しました。

採択されたアピールは「改憲問題対策法律家6団体連絡会も参加している『安倍9条改憲NO!全国市民アクション』が提起した3000万人署名

の取り組みはいまこそ緊急性を増しています。2018年通常国会での9条改憲発議を阻むため

に、全国の草の根で、全力で3000万人署名に取り組みを強め、改憲勢力が改憲を発議できない状況を作り出そうではありませんか」と呼びかけ、3000万人署名の運動を全国津々浦々に広めるために、法律家として力を尽くすことをここに表

明します」と結びました。改憲問題対策法律家6団体連絡会
社会文化法律センター
自由法曹団
青年法律家協会弁護士
学者合同部会
日本国際法律家協会
日本反核法律家協会
日本民主法律家協会

「安倍改憲は許さん！」院内集会

11/29(水) 18:00開会 (17:30受付開始)
19:30閉会予定



2の閣僚改憲を維持したことを受け、安倍内閣は来年の通常国会に改憲案を提出すると報じられています。すでに自民党は、改憲案の方向性を明確に示すことを目指しています。憲法改正の方向性を示す「憲法改憲」に反対するため、本会が協力したブックレット「[院説]安倍改憲は許さん!」を配布しています。

議員会館1階101会議室
議事録委員会1階で進行役を配付します。会場は定員140名、参加費を徴収いたしますのでご了承ください。
[院説]ブックレットを1冊配付いたします]

スケジュール:

開会挨拶 主催者代表

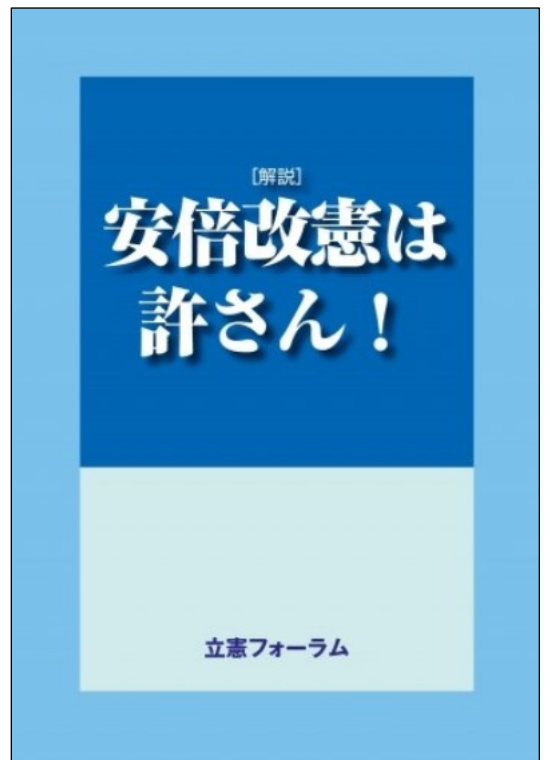
講演

1. 9条に自衛隊を明記する改憲案の本質と危険性

弁護士宮里邦雄
(社会文化法律センター 共同代表)

小沢隆一氏
(東京慈恵会医科大学 教授)

6団体連絡会院内集会ポスターと講演する小沢隆一氏(写真)



——憲法9条改憲を打ち砕くため活用してください——というパンフレットです。発行は超党派の議員で構成する議員連盟の「立憲フォーラム」（代表・近藤昭一衆院議員・立憲民主党）で、改憲問題対策法律家6団体連絡会が協力しており、読みやすく分かりやすい内容になっています。

インターネットで「安倍改憲は許さん！」と入力すると約30頁の全文を読むことができ、印刷することもできます。

第1章「憲法と立憲主義」
第2章「安倍政治と立憲主義」
第3章「9条に自衛隊の存在を明記する改憲案の本质と危険性」
第4章「自民党が提起する9条以外の改憲案」からなっています。

平和憲法の力を生かせ 圧力より対話を

小川 立石憲市郎

アメリカと北朝鮮の対立が戦争に発展すれば、日本が巻き込まれるのではないかとの不安が広がっています。北朝鮮から見れば、太平洋上の Guam はもとより、目と鼻の先の日本に米軍基地があるからです。

10月22日投開票の衆院選では、安倍首相は米国のトランプ大統領と歩調を合わせ、北朝鮮に対する圧力一辺倒の姿勢をとりながら、9条をターゲットとする改憲の必要性を公約に掲げました。

選挙の結果は自民党の大勝でした。この点について麻生副総理は、東京都内の会合（10月26日）で「明らかに北朝鮮のおかげもある」と述べました。危機感を高めたやり方が、成功したかのようにもとれる話でした。これからも、米朝対話の必要性を否定し、北朝鮮の脅威を強調することで、改憲の追い風にしようとするでしょう。

こうした状況のもとで、改憲派の意気込みは高揚してい

ます。改憲推進団体の一つ「美しい日本の憲法をつくる国民の会」は、選挙後さっそく集会を開き（10月25日）「『天の時』が与えられた」「安倍首相が奇跡を起こしてくれた」「国会での発議ができるまで頑張る」などの喜びの声を上げました。

11月27日には、最大の改憲団体とされる「日本会議」と、同団体と一体の「日本会議国会議員懇談会」が設立20周年記念大会を都内のホテルで開きました。会場は「来年の通常国会には、改憲案が発議できるよう頑張る」との空気に包まれ、同趣旨の宣言文も採択されました。

しかし、改憲派の最大の眼目である9条改憲については、国民の過半数が賛成しているわけではありません。この間の世論調査では、自衛隊の戦争参加を可能にする自衛隊明記について、「朝日」は賛成36%、反対45%（10月23・24日実施）、「NHK」は賛成32%、反対21%（10月7日

9日）となっており、賛否は拮抗するもののどちらも過半数には達していません。

「美しい日本の憲法をつくる国民の会」は、改憲世論を高めるために「美しい日本の憲法をつくる1000万人賛同者」署名に取り組んでおり、10月25日現在で989万8012筆に達している、予定数には、あと約10万2000筆としました。

日本国憲法、なかでも9条は、戦争の痛苦から生まれた憲法です。私たちはこの憲法を守るうとしていますが、守るといふことは「生かす」ということと一体です。「九条の会」呼びかけ人の一人で作家の小田実氏（故人）は、日本国憲法「いまこそ旬」という言葉を残しました。日本が再び「戦争する国」になるのを防ぎ、イラク戦争や民族紛争を前にして、9条を日本と世界の平和のために「生かせ」と訴えました。平和外交を柱に、米朝を対話に向かわせることが、危機回避の一番の方策です。

核兵器禁止条約 日本も参加を

今年のノーベル平和賞に決まった国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)のベアトリス・フィン事務総長(スエーデン出身)は、今月10日の授賞式を前にして、新聞各紙のインタビューに応じました。

各紙の報道によると、受け取った賞金は主として核兵器禁止条約に応じない国に対し、応じるよう働きかけるために使うと話しました。

日本政府に対しては、米国の「核の傘」にこだわっていて、「核の威嚇を容認する考え」があると指摘しました。その姿勢は、「広島や長崎で起きたことを、他の国にしようとする」ことにほかならないか(?)とも述べ疑問を呈しました。

米朝対立が激化し、北朝鮮の核開発が進むも、なおさら核兵器の保有や使用を国際法上禁止することが大事で、日本政府は「米国ファーストでなく、人類ファーストで考えるべきだ」と、暗に安倍首相の姿勢も批判しました。

また、禁止条約を拘束力のあ



る国際条約にするには、行動力が必要との考えを強調しました。一例として、「かつて事務所ではばこを吸って仕事をするのは普通の光景だったが、今では常識になった。室内での喫煙を禁止したからだ」とし、それまでに想像しなかった変化も行動することによって「急激に起こりうる」との可能性を指摘しました。

核兵器の破壊力が核戦争やその他の戦争をも防いでいるとのいわゆる「核抑止力」に対しては、「殺人が増えれば、怖がって殺人は減るのか」と疑問を投げかけ、現にある核兵器がいつまでも使われなれないと思っ

ている方が甘いと批判しました。ノーベル平和賞の賞金に加え、個人の献金を募って新たな基金



平和賞授賞式に臨む人々。前列左から3番目がサー・ロー節子さん。

を設立し、核兵器廃絶のための運動資金にするとの抱負も明らかにし、行動することの必要性を重ねて強調しました。

ノーベル平和賞の授賞式ではフィンさんと広島市の被爆者でカナダ在住のサー・ロー節子さんが

共同で受賞スピーチをすることになりました。共に参加するICANの他のメンバーからは「ICANの受賞おめでとう!」「核兵器禁止条約にYES!」「被爆者の声を世界へ!そして日本へも!」という声が上がります。

ヒバクシャ国際署名 取り組み進む

町田南地域九条の「ヒバクシャ国際署名」は取り組みでから約2カ月たちましたが、署名数は12月1日現在で335筆に達しました。会のメンバーが友人・

知人に署名用紙を送ったり、家族や親しい近所の人に書いてもらっています。

なかには勤めていた会社のOB会で、署名を集めた人もいます。「呑んでいた席だけど、気持ち良く書いてくれた」と話しました。

被爆者は 核兵器廃絶を心から求めます
Hibakusha Earnestly Desire Elimination of Nuclear Weapons

忘れてならない「あの日」のこと
 苦しみたがたい生きた
 人間のことを

ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える
核兵器廃絶国際署名にご協力を
 ヒバクシャ国際署名キャンペーン

〒113-0034東京都文京区湯島2-4-4平和と労働センター6階
 一般社団法人東友会 発行

日本国憲法第9条
 「戦争の放棄、軍備及び交戦権の否認」
 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇

又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては永久にこれを放棄する。
 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。



12月17日(日)13時
 南市民センター和室(1)
 18年1月14日(日)13時
 南市民センター第1会議室
 講師 水速信孝さん(画家 テレビデザイナー)
 参加申し込み等問い合わせ
 鬼塚希代 042(795)7238
 彦坂康良 042(796)5857

町田南地域九条の会世話人会
 12月23日(土)13時~14時
 南市民センター第1会議室

12月の駅頭宣伝

29日	22日	15日
金	金	金
すすかけ台	成瀬	南町田
AM 7:00 ~ 8:00	AM 10:00 ~ 11:00	AM 7:00 ~ 8:00

22日の成瀬駅前では「ヒバクシャ国際署名」も取り組みます。いずれも雨天の場合は中止です。

諸団体

まちだ市民連合主催行事
 第一部 講演会

町田南地域九条の会第55回学習討論会
安倍改憲前のめりの狙いと危険

国民投票をめざして、9条改憲案が来年の通常国会に出されようとしています。9条の1項、2項を残し、3項で自衛隊を“明記”すると、“どうなる?..”

講師 中島剛二さん 町田南地域九条の会世話人代表

12月23日(土)
 14:00 ~ 16:30

南市民センター
 第1会議室(1F)

参加費なし。どなたでも参加できます。



一緒に行こうよ
 どこまで(?)も

「市政と暮らしと憲法と」
 講師 清水雅彦氏(九条の会世話人 話人 白体大教授)
 第二部 町田市政を考える市民リレートーク
 12月13日(水)18時
 町田市民フォーラムホール
 問い合わせ/連絡先
 090(9340)6712/mcga
 citizens@gmail.com
 戦争はゴメン!!まちだ市民連絡会定例宣伝行動

12月19日(火)13時~14時
 JR町田駅前北口デッキ
 戦争させない9条壊すな!総がかり行動実行委員会
 安倍9条改憲を許さない!安倍内閣の退陣を要求する12・19国会議員会館前行動
 12月19日(火)18時30分
 衆議院第2議員会館前中心
 町田南地域九条の会は田園都市線「長津田駅」渋谷寄りホーム17時30分集合です。

町田南地域
九 条 の 会 に ぜ ひ ど う ぞ

- 憲法9条守り生かして戦争のない世界を -

思想・信条・宗教・支持政党のいかなを問わず、9条守る一点で作られた個人加入の市民団体です。会費は年500円。ニュースや会報、その他宣伝物の発行、学習討論会などの費用にあてています。

加入の方法(会員に知り合いがあればその人を通して)電話/ファックスは「042-796-6684」に。インターネットからは「町田南地域九条の会」と入力して「会則と加入」のページで。